



2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年11月13日

東・名

上場会社名 ICDAホールディングス株式会社 上場取引所
コード番号 3184 URL <https://www.icda.jp>
代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)向井 弘光
問合せ先責任者 (役職名)管理部長 (氏名)服部 宝 (TEL) 059-381-5540
四半期報告書提出予定日 2023年11月13日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	15,308	1.4	793	△7.7	809	△7.9	537	△4.9
2023年3月期第2四半期	15,093	12.1	859	6.8	878	8.2	565	7.5

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 619百万円(7.6%) 2023年3月期第2四半期 575百万円(2.8%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
2024年3月期第2四半期	255	80	—	—
2023年3月期第2四半期	269	10	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	17,503	50.2	9,076	50.2	—	—
2023年3月期	15,618	53.0	8,568	53.0	—	—

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 8,780百万円 2023年3月期 8,280百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
2023年3月期	—	0.00	—	50.00	50.00	0.00
2024年3月期	—	0.00	—	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	50.00	50.00	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	31,000	1.7	1,383	0.8	1,400	△0.3	914	3.5	435	46

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2024年3月期2Q	2,100,000株	2023年3月期	2,100,000株
2024年3月期2Q	207株	2023年3月期	207株
2024年3月期2Q	2,099,793株	2023年3月期2Q	2,099,793株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループの主要エリアである三重県下において、新型コロナウイルス感染症に対する行動制限が緩和されたことにより、経済活動は回復傾向となり、個人消費も回復傾向となっております。しかしながら、為替相場の影響や原材料費の高騰により製造業を中心とした経済活動の鈍化が懸念されております。

当社グループにおいては、従来より実施している既存顧客に対するフォローアップ活動の更なる強化を図ることにより、既存顧客からの受注は堅調に推移しております。しかしながら、前連結会計年度より継続している商品(車両及び部品等)の供給遅れ又は出荷停止等の影響が薄れているものの、従前の状況には回復はしておりません。また、ロシアのウクライナ侵攻に伴う対ロシア経済制裁として中古車の対ロシア輸出禁止による中古車オークション相場の変動等、業績に与える影響が懸念されております。

これらの結果、売上高は153億8百万円と前年同期と比べ2億14百万円(1.4%)の増収、営業利益は7億93百万円と前年同期と比べ66百万円(7.7%)の減益、経常利益は8億9百万円と前年同期と比べ69百万円(7.9%)の減益、親会社株主に帰属する四半期純利益は5億37百万円と前年同期と比べ27百万円(4.9%)の減益となりました。

① 売上高及び営業利益

売上高は153億8百万円と前年同期と比べ2億14百万円(1.4%)の増収、営業利益は7億93百万円と前年同期と比べ66百万円(7.7%)の減益となりました。セグメント毎の売上高及び営業利益は以下のとおりであります。

(自動車販売関連事業)

当セグメントにおきましては、新車販売は、半導体不足等による製造ライン稼働率低下の影響による商品供給は回復しつつありますが、在庫車両の販売等に注力することで新車販売台数は前年同期比を上回ることができました。国産新車販売台数は前年同期比0.5%減の2,540台となり、輸入車販売台数は前年同期比23.4%増の248台となりました。これらの結果、新車販売台数は前年同期比1.2%増の2,788台となりました。

中古車販売については、既存顧客からの受注が堅調に推移しておりますが、中古車オークション相場が、商品不足による中古車オークション相場の乱高下が解消されつつありましたが、対ロシア輸出禁止の影響を受け、中古車オークション相場が回復しておりません。これにより卸売(業販)が大幅に減少したことで、中古車販売台数は前年同期比12.0%減の4,367台となりました。

これらの結果、売上高は146億19百万円と前年同期と比べ2億18百万円(1.5%)の増収となり、セグメント利益(営業利益)は8億26百万円と前年同期と比べ34百万円(4.0%)の減益となりました。

(自動車リサイクル事業)

当セグメントにおきましては、生産台数(再資源化处理)は前年同期比4.8%減の4,355台となり、使用済自動車の入庫は、前年同期比0.5%増の4,323台となりました。売上高は、鉄及びアルミ並びに希少希土類(レアアース・レアメタル)等の資源相場下落により減少しておりますが、輸出関連売上は増加しております。しかし、売上原価は、中古車オークション相場の大幅な価格変動の影響を受けて増加いたしました。

これらの結果、売上高は6億88百万円と前年同期と比べ3百万円(0.5%)の減収となり、セグメント利益(営業利益)は79百万円と前年同期と比べ31百万円(28.6%)の減益となりました。

② 経常利益

営業外損益については、営業外収益は減少し、営業外費用も減少いたしました。これらの結果、経常利益は8億9百万円と前年同期と比べ69百万円(7.9%)の減益となりました。

③ 親会社株主に帰属する四半期純利益

親会社株主に帰属する四半期純利益については、経常利益の減少により、税金等調整前四半期純利益は8億9百万円と前年同期と比べて60百万円(6.9%)の減益となり、法人税等(法人税等調整額を含む)は2億57百万円となりました。これらの結果、当第2四半期連結累計期間における親会社株主に帰属する四半期純利益は5億37百万円と前年同期と比べ27百万円(4.9%)の減益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 財政状態の分析

(資産の部)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末より18億84百万円増加し、175億3百万円となりました。これは主に、商品及び製品の増加12億73百万円、現金及び預金の増加3億10百万円、受取手形及び売掛金の増加1億2百万円、土地の増加73百万円等によるものであります。なお、土地については、自動車販売関連事業における「SDGs×脱炭素経営」に向けた取り組みの一環として取得いたしました。

(負債の部)

当第2四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末より13億76百万円増加し、84億26百万円となりました。これは主に、買掛金の増加9億18百万円、借入金の増加5億97百万円等によるものであります。

(純資産の部)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末より5億8百万円増加し、90億76百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上5億37百万円、配当金の支払1億4百万円によるものであります。

② キャッシュ・フローの状況の分析

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は前年同期と比べ3億67百万円増加し、9億89百万円となりました。当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は前年同期と比べ2億42百万円減少し、10億56百万円となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益が8億9百万円、減価償却費4億9百万円、仕入債務の増加額9億18百万円等による資金の増加と、棚卸資産の増加額5億82百万円、法人税等の支払額2億48百万円等による資金の減少によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果支出した資金は前年同期と比べ7百万円減少し、12億28百万円となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出12億21百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は前年同期と比べ5億99百万円増加し、4億83百万円(前期は1億16百万円の資金の支出)となりました。これは主に、短期借入金の増加額7億円等による資金の増加と、配当金の支払額1億5百万円、長期借入金の返済による支出1億2百万円等による資金の減少によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、概ね計画通り推移していることから、2023年5月15日公表の連結業績予想から修正は行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	758,873	1,069,037
受取手形及び売掛金	498,015	600,791
商品及び製品	3,384,094	4,657,275
仕掛品	7,277	2,921
原材料及び貯蔵品	88,151	74,580
その他	209,653	309,958
貸倒引当金	△203	△224
流動資産合計	4,945,862	6,714,339
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,391,485	2,300,328
土地	5,796,139	5,869,373
その他（純額）	1,370,347	1,467,436
有形固定資産合計	9,557,971	9,637,138
無形固定資産	37,758	37,211
投資その他の資産	1,077,224	1,114,787
固定資産合計	10,672,955	10,789,136
資産合計	15,618,817	17,503,476

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,794,507	2,713,465
短期借入金	1,495,120	2,092,130
未払法人税等	269,088	239,391
前受金	1,575,975	1,606,171
賞与引当金	161,034	162,334
その他	635,279	473,073
流動負債合計	5,931,004	7,286,565
固定負債		
役員退職慰労引当金	323,888	330,270
退職給付に係る負債	729,593	749,168
その他	65,882	60,508
固定負債合計	1,119,364	1,139,948
負債合計	7,050,369	8,426,513
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,161,078	1,161,078
資本剰余金	1,148,992	1,148,992
利益剰余金	5,882,432	6,314,573
自己株式	△378	△378
株主資本合計	8,192,124	8,624,266
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	27,732	97,652
退職給付に係る調整累計額	60,471	58,141
その他の包括利益累計額合計	88,204	155,794
非支配株主持分	288,118	296,901
純資産合計	8,568,448	9,076,962
負債純資産合計	15,618,817	17,503,476

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年9月30日)
売上高	15,093,846	15,308,482
売上原価	12,063,258	12,252,334
売上総利益	3,030,588	3,056,147
販売費及び一般管理費	2,170,903	2,262,648
営業利益	859,685	793,499
営業外収益		
受取配当金	5,203	5,919
受取賃貸料	5,700	6,200
受取保険金	18,166	6,428
受取負担金	—	2,780
その他	3,106	3,804
営業外収益合計	32,175	25,132
営業外費用		
支払利息	7,006	6,158
支払手数料	1,637	1,256
その他	4,411	1,958
営業外費用合計	13,055	9,372
経常利益	878,805	809,259
特別損失		
固定資産除却損	9,330	—
特別損失合計	9,330	—
税金等調整前四半期純利益	869,475	809,259
法人税、住民税及び事業税	274,856	219,627
法人税等調整額	8,398	38,012
法人税等合計	283,254	257,640
四半期純利益	586,220	551,618
非支配株主に帰属する四半期純利益	21,149	14,487
親会社株主に帰属する四半期純利益	565,071	537,130

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	586,220	551,618
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△10,602	69,920
退職給付に係る調整額	△355	△2,344
その他の包括利益合計	△10,957	67,575
四半期包括利益	575,263	619,194
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	553,961	604,721
非支配株主に係る四半期包括利益	21,301	14,472

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	869,475	809,259
減価償却費	366,344	409,637
賞与引当金の増減額 (△は減少)	7,146	1,299
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	5,745	6,382
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	7,339	16,216
受取利息及び受取配当金	△5,252	△5,960
支払利息	7,006	6,158
固定資産除却損	9,330	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△71,525	△102,776
棚卸資産の増減額 (△は増加)	746,238	△582,998
仕入債務の増減額 (△は減少)	△477,124	918,958
前受金の増減額 (△は減少)	58,707	30,195
その他	75,719	△201,278
小計	1,599,150	1,305,092
利息及び配当金の受取額	5,252	5,960
利息の支払額	△7,030	△6,177
法人税等の支払額	△298,386	△248,764
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,298,986	1,056,111
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△30,000	△20,000
定期預金の払戻による収入	50,000	20,000
有形固定資産の取得による支出	△1,233,560	△1,221,270
投資有価証券の取得による支出	△13,324	△3,285
その他	△9,496	△4,407
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,236,381	△1,228,963
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	100,000	700,000
長期借入金の返済による支出	△102,990	△102,990
配当金の支払額	△104,916	△105,048
非支配株主への配当金の支払額	△5,690	△5,690
その他	△3,256	△3,256
財務活動によるキャッシュ・フロー	△116,852	483,015
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△54,247	310,163
現金及び現金同等物の期首残高	676,177	678,841
現金及び現金同等物の四半期末残高	621,929	989,005

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期 連結損益計算書 計上額(注) 2
	自動車販売 関連事業	自動車 リサイクル事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	14,401,665	692,180	15,093,846	—	15,093,846
セグメント間の内部 売上高又は振替高	21,836	19,579	41,415	△41,415	—
計	14,423,501	711,760	15,135,261	△41,415	15,093,846
セグメント利益	861,260	110,740	972,000	△112,315	859,685

(注) 1. セグメント利益の調整額△112,315千円には、セグメント間取引消去△2,197千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△110,118千円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない純粋持株会社である当社の子会社統括事業に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期 連結損益計算書 計上額(注) 2
	自動車販売 関連事業	自動車 リサイクル事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	14,619,917	688,565	15,308,482	—	15,308,482
セグメント間の内部 売上高又は振替高	27,719	26,399	54,119	△54,119	—
計	14,647,636	714,964	15,362,601	△54,119	15,308,482
セグメント利益	826,737	79,048	905,785	△112,286	793,499

(注) 1. セグメント利益の調整額△112,286千円には、セグメント間取引消去1,988千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△114,275千円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない純粋持株会社である当社の子会社統括事業に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。